

(インドネシア) - 3件

① インドネシアにおける地熱発電

2018年5月8日

インドネシアの地熱発電量は、11,073MWの資源量と17,453MWの埋蔵量からなる約28.5GWに達すると推定される。インドネシアは世界最大の地熱資源国の一つになっており、最も可能性の高い再生可能エネルギー源の1つとして、政府は引き続き地熱利用の拡大を推進している。

新再生可能エネルギー・省エネルギー総局 (EBTKE) 地熱局の最新データによると、インドネシアの地熱鉱区は11鉱区で、地熱発電所(PLTP)は13ヶ所にのぼり、1,948.5 MWを発電している。(詳細は以下のインドネシア地熱発電所一覧表を参照)

プルタミナ・ジオサーマル・エナジー (PGE) が操業する西ジャワ州カラハ地熱発電所 (PLTP Karaha) 第1号機は、2018年4月6日に商業運転が開始されたばかり。これにより、西ジャワ州タシクマラヤ県とその周辺地域3万3,000世帯に電力が供給されることとなった。これは政府が提案した35GM計画の1部である。

さらに、2018年第2四半期には、ソリック・マラピ・モドゥラー地熱発電所第1号機 (PLTP Sorik Marapi Modullar Unit 1)、ソリック・マラピ・モドゥラー地熱発電所第2号機 (PLTP Sorik Marapi Modullar Unit 2)、バライ地熱発電所第1号機 (PLTP Balai Unit 1) とソコリア地熱発電所第2号機 (PLTP Sokoria Unit 2) の4つの地熱発電所から、110MWの追加発電が予定されている。

将来的には、地熱産業の発展はインドネシア東部に及ぶと期待されている。

インドネシア地熱発電所一覧表

No	地熱発電所 (PLTP)	発電量 MW	オペレーター	鉱区場所
1	シバヤック PLTP Sibayak	12	プルタミナ・ジオサーマル・エナジー PT Pertamina Geothermal Energy	北スマトラ州 Sibayak - Sinabung, Sumatera Utara
2	サルーラ PLTP Sarulla	330	サルーラ・オペレーション Sarulla Operation Ltd	北スマトラ州 Sibual - Buali, Sumatera Utara
3	ウルベル PLTP Ulubelu	220	プルタミナ・ジオサーマル・エナジー PT Pertamina Geothermal Energy	ランブンプ州 Waypanas, Lampung
4	サラック PLTP Salak	377	スターエナジー・ジオサーマル・サラック PT Star Energy Geothermal Salak. Ltd	西ジャワ州 Cibeureum - Parabakti, Jawa Barat
5	ワヤン・ウィンドウ PLTP Wayang Windu	227	スターエナジー・ジオサーマル・ワヤンウィンドウ Star Energy Geothermal Wayang Windu	西ジャワ州 Pangalengan, Jawa Barat
6	パトゥハ PLTP Patuha	55	ジオ・ディパ・エナジー PT Geo Dipa Energy	西ジャワ州 Pangalengan, Jawa Barat
7	カモジャン PLTP Kamojang	235	プルタミナ・ジオサーマル・エナジー PT Pertamina Geothermal Energy	西ジャワ州 Kamojang - Darajat, Jawa Barat
8	ダラジャット PLTP Darajat	270	スターエナジー・ジオサーマル・ダラジャット Star Energy Geothermal Darajat	西ジャワ州 Kamojang - Darajat, Jawa Barat
9	ディエン PLTP Dieng	60	ジオ・ディパ・エナジー PT Geo Dipa Energy	中部ジャワ州 Dataran Tinggi Dieng, Jawa Tengah
10	カラハ PLTP Karaha	30	プルタミナ・ジオサーマル・エナジー PT Pertamina Geothermal Energy	西ジャワ州 Karaha Bodas, Jawa Barat
11	マタラコ PLTP Matalako	2.5	国営電力会社PLN PT Perusahaan Listrik Negara	東ヌサトゥンガラ州 Matalako, NTT
12	ウルンプ PLTP Ulumbu	10	国営電力会社PLN PT Perusahaan Listrik Negara	東ヌサトゥンガラ州 Ulumbu, NTT
13	ラヘンドン PLTP Lahendong	120	プルタミナ・ジオサーマル・エナジー PT Pertamina Geothermal Energy	北スラウェシ州 Lahendong - Tompasso, Sulawesi Utara
	<b>発電総量</b>	<b>1948.5</b>		

(出典: 新再生可能エネルギー・省エネルギー総局 (EBTKE) 地熱局)

## ② サルーラ地熱発電所第3号機が商業運転開始

2018年5月9日

北スマトラ州にあるサルーラ地熱発電所の第3号機(PLTP Sarulla Unit III)が、当初予定されていた2018年第2四半期よりも前倒しで、この5月に商業運転を開始した。これにより発電能力は306MWから330MWに増加し、単一開発契約の地熱IPP(独立発電事業)としては世界最大級となった。サルーラ地熱発電所の建設開始は2014年で、第1号機は2017年3月、第2号機は同年10月に商業運転を開始している。

事業会社サルーラ・オペレーションには、地場企業メドコ・パワー・インドネシア(Medco Power Indonesia)、米オーマット・テクノロジー、九州電力、伊藤忠、INPEXが出資し、国営電力会社PLNと30年間の売買契約が締結されている。

(出典: 新再生可能エネルギー・省エネルギー総局(EBTKE)地熱局)

## ③ 北スラウェシ州地熱エリアの予備調査と地熱探査(WPSPE)入札の提示

2018年5月21日

北スラウェシ州地熱オープンエリアの予備調査と地熱探査入札の提示

No:005 / WPSPE-DEP / 2018

エネルギー鉱物資源省の地熱開発委員会は、北スラウェシ州の地熱開発オープンエリアで、予備調査と地熱探査(WPSPE:Wilayah Penugasan Survei Pendahuluan dan Eksplorasi)の入札を提示した。提示されたエリアは以下の通り。

1. WPSPE名:クラバット・ウィネル(Klabat Wineru)
2. WPSPE位置:北スラウェシ州、北ミナハサ地区とビトゥン市
3. WPSPE面積:44,140ヘクタール
4. 潜在資源:20MWe(投機的資源)

地熱法に従い、入札申請には以下の手順を踏む。

1. クラバット・ウィネル WPSPE 入札に申請できる参加者は、経験豊かな事業者であるか、上流の石油・ガス、ミネラル/石炭鉱業または発電、地熱に従事している。
2. クラバット・ウィネル WPSPE 入札に参加することに関心のあるビジネスエンティティは、管理上、技術上、財務上の要件を満たす申請書を提出しなければならない。
3. PT PLN(Persero)との事前取引契約(PTA)は、調査が完了し地熱許可証が発行された後に実施される。PTAの電力の参照価格は法令の規定に従う。
4. ウィネル・クラバット地区の WPSPE 申請では、登録用紙、入札書類の提出と説明、および譲渡申請書の提出が以下の場所で行われる。

日付:2018年5月21~2018年6月25日

時間:08.00~16.00

会場:PSPE 地熱選挙委員会事務局

Gedung Ditjen EBTKE lt.3, Jl. Pegangsaan Timur No.1 Menteng Jakarta Pusat

5. ウィネル・クラバット地域における WPSPE 入札の登録は、会社の社長/取締役からの委任

状をもって代理申請が可能。

6. WPSPE の入札発表と登録フォーム、および WPSPE プロファイルは、2018 年 5 月 21 日「[www.ebtke.esdm.go.id](http://www.ebtke.esdm.go.id)」からダウンロードすることができる。

(出典: 再生可能エネルギー・省エネルギー総局 (EBTKE) 地熱局)

(フィリピン) - 0 件